

## 防災まちづくりに取り組んでいます！

落合第二地区<sup>じぜんふっこう</sup>事前復興まちづくりを考える会（以下、考える会）では平成20年度の<sup>きょうどうふっこうちもぎくねん</sup>協働復興模擬訓練をきっかけとして、落合第二地区の各町会や地区協議会、新宿区防災サポーターなどの<sup>じちとゆうし</sup>地元有志によって平成21年から活動を行っています。

**東京では今後30年の間に70%の<sup>かくりつ</sup>確率が<sup>しゅとちよつかじしん</sup>首都直下地震が発生するとされています。この<sup>だいしんさい</sup>大震災に<sup>そな</sup>備えて事前からどのような<sup>じぜん</sup>まちづくりを進めておけばよいのか？** 本号では、今年度<sup>ほんごう</sup>に考える会が行った防災まちづくりの取り組みについてご紹介します。

### ■上落合2・3丁目の今後の防災まちづくりを話し合いました

昨年度はまちあるきにて、地区の<sup>かだい</sup>防災上の課題や<sup>しげん</sup>資源について話し合い、今年度は2回のワークショップを上落合中央町会・三丁目町会の協力のもと行いました。

<sup>はんしんあわじだいしんさい</sup>阪神淡路大震災で被害のあった<sup>のだほくぶちく</sup>野田北部地区のまちづくりの取り組みや、他の地区の防災まちづくりを勉強し、上落合2・3丁目における今後の防災まちづくりの進め方について話し合いました。



#### 今年度行ったワークショップ

##### ●第1回ワークショップ

日時：平成22年9月26日（日）午後1時30分～3時30分

場所：落合第五小学校

##### ●第2回ワークショップ

日時：平成22年11月7日（日）午後1時30分～3時30分

場所：落合第五小学校

主催：落合第二地区事前復興まちづくりを考える会

協力：上落合中央町会、上落合三丁目町会、落合第二地区協議会、早稲田大学都市地域研究所

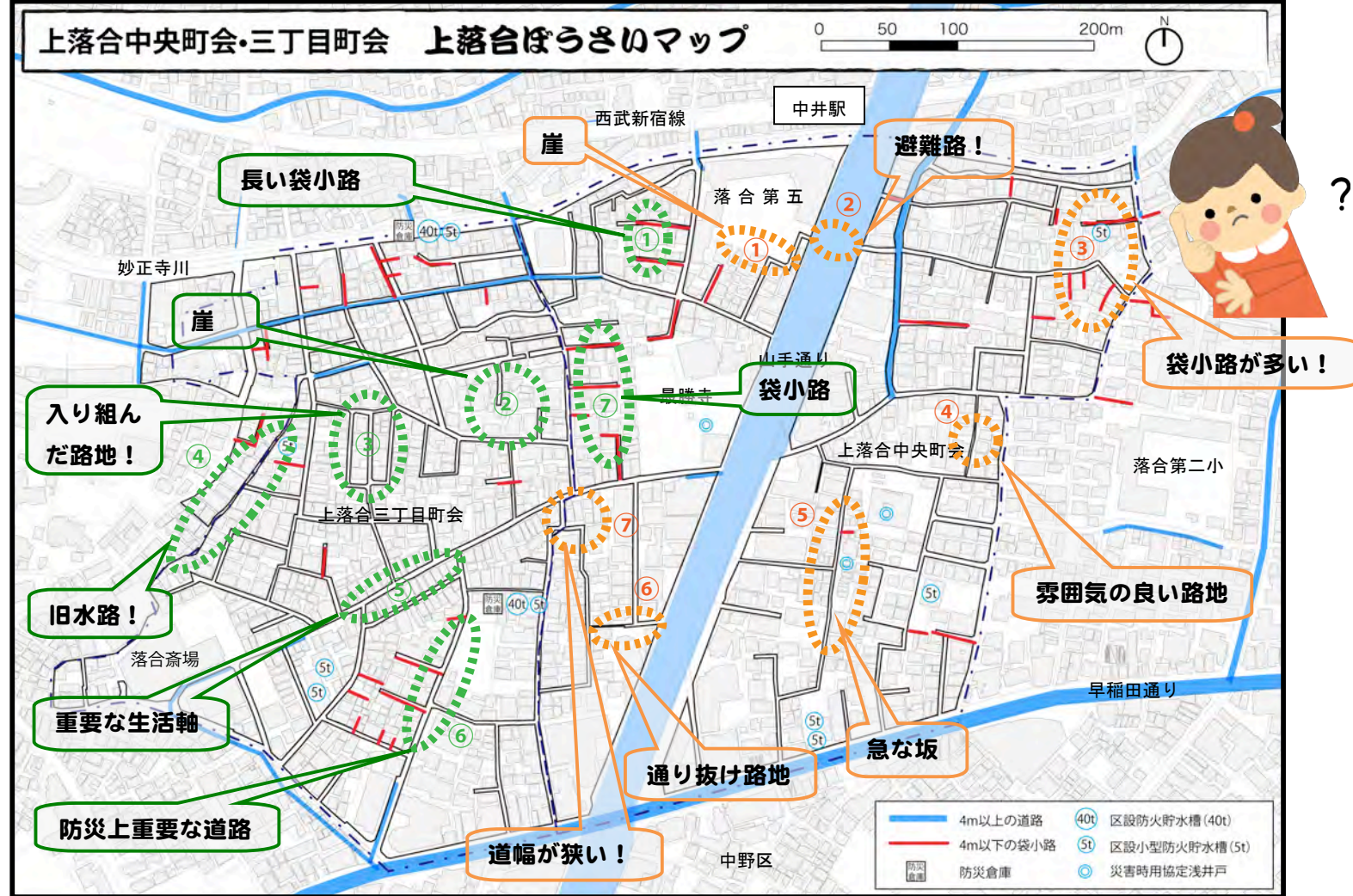




# 上落合のワークショップの成果をご紹介します！

自分のまちを点検してみよう！

※右表のオレンジと緑の番号がそれぞれ対応しています。



## 大地震が起こった場合、特に心配されているのは「火災」です！

大地震による建物の倒壊も危険ですが、より大きな被害が予想されるのが、木造家屋が密集した地域での「火災」です。

- ① 狭い道の課題**  
まちの中は、4 M 未満の道ばかり！6 M 以上ないと消防車が活動できません。
- ② 行き止まりの課題**  
崖や行き止まりがたくさんあり、道が1本ふさがるだけで逃げられない人がいます。
- ③ 老朽木造家屋の課題**  
古い木造家屋が多く、1度火がつくと街全体に火災が燃え広がる可能性があります。

## 上落合中央町会エリアの防災ポイント (例)

- ① 避難所となる落合第五小学校は、入り口が2カ所しかなく、校庭に逃げにくくなっています。
- ② 東側から学校へつながる避難路です。
- ③ 行き止まりの道がたくさんあり、通り抜けができません。
- ④ 霧田気の良い路地が残っています。避難する時に歩くのは少し心配です。
- ⑤ 急な坂が続いており、お年寄りや車いすの方などの避難が難しいです。
- ⑥ 山手通りに抜ける避難路になりそうですが、今は狭くて危険です。
- ⑦ 道幅が狭く、折れ曲がっていて、非常時にクルマが入ることができません。

## 上落合三丁目町会エリアの防災ポイント (例)

- ① 長い行き止まりの道です。建物が倒れて出口がふさがる心配もあります。
- ② 崖があり、行き止まりになっています。
- ③ 細い道が入り組んでいて、地元に住んでいない人は迷いそうです。
- ④ 昔は水路として使われた細い道です。古い建物もあり、倒れてくる心配があります。
- ⑤ 商店街としてまちの真ん中を抜ける大切な道です。
- ⑥ 道の幅も広く、公園もあるので、安心して避難できそうです。
- ⑦ 行き止まりの道がたくさんあります。建物が倒れて出口がふさがる心配もあります。

※左地図のオレンジと緑の番号がそれぞれ対応しています。

## ●第1回ワークショップの内容



### ● 阪神・淡路大震災の事例紹介

阪神・淡路大震災のまちの復興、被災者の生活の再建を記録した映画「野田北部鷹取の人々」に参加された方々と観ることで、震災前からの地元のまちづくり活動によって、より早く復興に取りかかることができたことを学び、上落合地区における震災前からのまちづくり活動の大切さについて話し合いました。

### ● 上落合2・3丁目の被害想定

上落合2・3丁目がもし大地震にあった場合、どのように火災がまちに燃え広がるか、建物の被害想定を行いました。この被害想定から、避難する時に気をつけなくてはならないことや重要な避難ルートを確認し、地元での助け合いの大切さについて話し合いました。

## ●第2回ワークショップの内容



### ● 安全まちづくりシミュレーション

上落合の商店街や細い道の写真に貼られたシールをはがして行くと、理想の状況を描いた「将来の上落合のイメージ」が出てくる「はがし絵ゲーム」を行いました。「まちの課題を解決すると、こんなに良いまちになるのか」と今後のまちづくりに期待がふくらみます。

### ● 意見交換

その後、上落合を安全なまちにしていけるためには、地元の住民や、区役所、まちづくりの専門家などが助け合うことの大切さや、まちづくりの進め方について話し合いました。「もっと具体的に検討したい」という意見から、今後は候補地を決めて、具体的なまちづくりの検証を進めていくことになりました。

ご協力・ご参加頂いた上落合中央町会・三丁目町会の皆様ありがとうございました！





## ■防災まちづくりに関するアンケート調査にご協力ください！

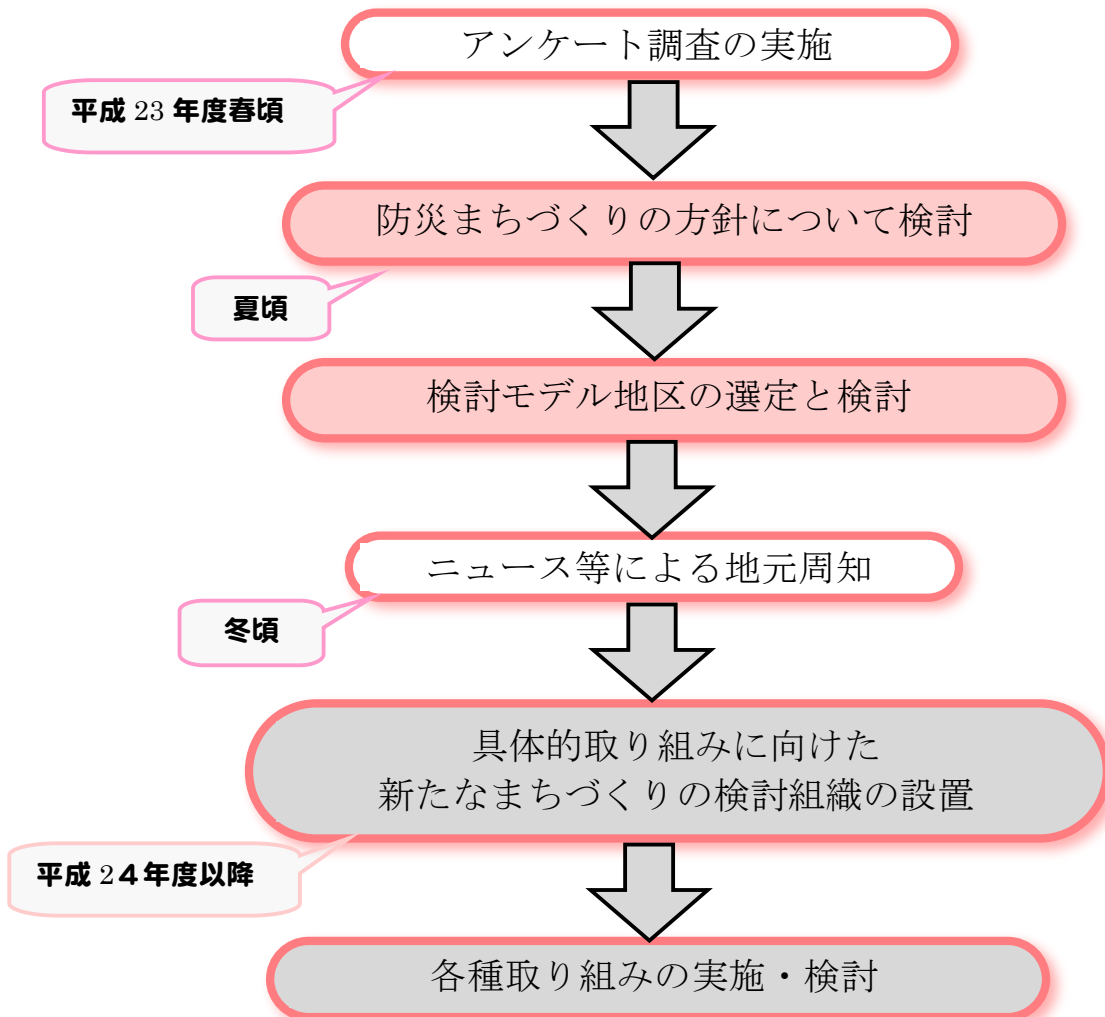
今後の防災まちづくりの取り組みの参考とするため、上落合2・3丁目にお住まいのみなさんを対象に、防災まちづくりに関するアンケート調査を行います。

- アンケート調査概要
  - ・ まちの将来像について
  - ・ 防災面での住宅地の課題について
  - ・ 今後のまちづくりの取り組み方について
  - ・ まちづくりのルール（地区計画等）について

アンケート調査期間：2011年4月～5月

詳しくは、別紙アンケート調査票をご覧ください！

## ■今後のスケジュール(予定)



### ■お問い合わせ先

早稲田大学 都市・地域研究所（担当：阿部・北岡）  
 〒162-0041 新宿区 早稲田 鶴巻町 513 120-4 号館-005  
 電話：03-5272-6192（内線 3038） FAX：03-3205-6893

編集協力：早稲田大学 都市・地域研究所